

学生コアメンバー第1回ミーティング

“CHAmmit”を企画・運営する学生コアメンバーの初回ミーティングを行いました。



各学部の代表学生が集まる日本大学 学生FD CHAmmit2013 学生コアメンバー

2013年11月16日(土)に日本大学会館大講堂で「日本大学学生FD CHAmmit2013」の学生コアメンバー第1回ミーティングが行われました。

異なる学部から集まったせい、みなさん硬い表情で始まりましたが、アイスブレイク、プチしゃべり場などを通じて次第に打ち解けていきました。

当日は、イベントの趣旨説明から実施組織の決定まで約3時間半に渡り、楽しく大学について語り合うなど、今後のイベント企画検討に向けて第一歩を踏み出しました。



いきなり企画というわけにもいきませんので、実施に際し、本学で学生FDが先進的に行われている文理学部の学生FDワーキンググループスタッフのみみなさんにも学生コアメンバーとして協力をいただいています。ミーティング前に学務部教育推進課員との打合せと簡易リハールを行いました。

学生コアメンバー第1回ミーティング当日のスケジュール

13:30 開始

- ①担当教職員(全学FD委員会プログラムWG)紹介・資料説明等
- ②CHAmmitの趣旨・概要説明(短期大学部船橋校舎 羽入教授)
- ③参考映像視聴(全国規模で実施している学生FDサミットの模様を上映)
- ④アイスブレイク(文理学部学生FDWGによる企画)
- ⑤プレイベントープチしゃべり場(文理学部学生FDWGによる企画)
- ⑥実施組織(分担)
- ⑦事務連絡
- ⑧挨拶(芸術学部 原教授)

17:00 終了



アイスブレイクで心と体をほぐした後に、イベントで実施することが想定されるプチしゃべり場を行いました。「大学はあなたにとってどんな存在?」をテーマとし約1時間グループ討議を行い、各グループにより発表を行いました。そのあと、学生コアメンバーの代表など実施組織を決定し、終了しました。

次回ミーティングは12月21日に開催し、2月26日当日の企画が決まります。

学生コアメンバー第2回ミーティング

“CHAmmit”の企画案を検討し、骨子を決定しました。

2013年12月21日(土)に日本大学桜門会館で「日本大学学生FD CHAmmit 2013」の学生コアメンバー第2回ミーティングが行われました。

2回目ということと、今回から進行も学生となったためか、とても自然な雰囲気で行なわれました。

今回は、第1回ミーティング後にメール等を通じて学生コアメンバーが作成した企画案について検討を行い、企画の骨子を決定することができました。一方で議論を進める中で課題も明確になりました。



まずはじめは交流タイム。改めてコアメンバーの絆を深めるべくお互いを褒めあい、同グループの他己紹介を発表形式で行ないました。グループを変更しながら多くの学生と交流を深めることができました。

学生コアメンバー第2回ミーティング当日のスケジュール

13:30 開始

- ①交流タイム
- ②東洋大学学生FDサミット企画参加報告・法学部会場説明
- ③過去「学生FDサミット」開催例と学生FDについて(文理学部4年 今宮さん)
- ④共同企画進捗状況報告(文理学部4年 今宮さん)
- ⑤企画進捗状況報告と議論(工学部2年 浅野さん)
- ⑥学生コアメンバー代表スピーチ(商学部3年 瀬良さん)
- ⑦総括(商学部 村田教授)

17:30 終了

学生FD活動について豊富な経験を持つ文理学部4年の今宮加奈未さんが、「学生FDの現状」や「学生FDサミット」について説明を行なってくれました。



企画案等の説明を真剣に聞き入る学生コアメンバー



企画案承認後、企画に関する詳細について学生コアメンバーで真剣な話し合いが行なわれました。今後、決定した企画を基に当日に向けて内容をさらに具体化しながら、いよいよ資料作成・実施準備へと進んでいきます。次回は2月15日に実際の会場となる法学部にて現場確認やリハーサルなどを行ないます。



学生コアメンバー第3回ミーティング

機材等の操作確認、企画詳細の最終検討、ファシリテーター研修を行ないました。



当日の法学部10号館前

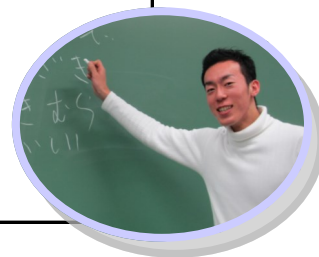
2014年2月15日(土)に日本大学法学部10号館で「日本大学学生FD CHAmmit2013」の学生コアメンバー第3回ミーティング(最終)が行われました。

当日まで10日余りとなる中、大詰めのみーティングとなるはずが、前日からの大雪の影響で、開始予定時刻に集合できたメンバーはわずか4名。大ピンチの開始となりましたが、最終的には交通機関を迂回するなどして、終了までに20名中13名のコアメンバーが法学部にたどり着くことができ、大幅に予定を変更して、内容の最終確認や一部リハーサルを終えることができました。

学生コアメンバー第3回ミーティング当日のスケジュール

大雪の影響のため、大幅に予定を変更し、次のとおり実施しました。

- 10:00~10:40 (メンバーの集合を待ちながらの打合せ)
- 10:40
- ①機材、設備の確認、使用教室等の確認
- ②当日の流れの説明、内容の最終検討及びしおりの確認
- ③リハーサル(ファシリテーター研修、学生参画型企画の実施方法等の確認)
- ④当日の役割分担決定
- 18:00 終了



大幅な予定変更への対応策を急遽検討する学生コアメンバー



他大学の事例を参考にして、当日を想定したファシリテーター研修を行ないました。



機材使用方法の確認



実際の学生参画型企画を想定して、どのような形式が話し合いに適切かなどを話し合いながら、机の配置などを試行錯誤しながら検討しました。



全学FD委員会プログラムワーキンググループで学生FDを担当している羽入敏樹教授からも企画の問題点を的確に指摘していただくなど、多くの助言をいただきました。



大雪の影響で大幅に予定を変更した最終のみーティングとなりましたが、「日本大学学生FD CHAmmit」当日も迫り、どこか緊張感のあるものとなりました。いよいよ、前日の設営・リハーサルを経て、本番である当日(2月26日)を迎えます。

前日準備（設営・最終リハーサル）

会場の前日設営・最後のリハーサルを行いました。

2014年2月25日（火）に日本大学法学部10号館で「日本大学学生FD CHAmmit2013」の学生コアメンバーや教職員スタッフが集まり、前日準備とリハーサルを行いました。

最後のミーティングとなった第3回ミーティングでは、大雪の影響で準備が不十分となり、前日リハーサルは予定以上に時間を要することとなりました。

これまで、授業などでミーティングに参加できなかった学生コアメンバーもほぼ全員が揃い、メンバーの意識も次第にひとつになっていきました。

「日本大学学生FDCHAmmit2013」前日のスケジュール

- 9:40～ 配布資料のセッティング
（早く到着したメンバーで実施）
- 10:00～ 当日用のしおりを基に当日の流れと動きを再確認
- 10:40～ 会場の設営
（会場セッティング・掲示・買出し等）
- 13:30～ リハーサル①（学生参画型企画）
- 15:20～ リハーサル②（共同企画）
- 17:00～ リハーサル③（学生参画型企画説明の寸劇）
- 19:00 終了？……



まずは本番スケジュールの最終確認

法学部の皆様にも御協力をいただきました。→



入念な物品チェック



入念なチェックを行う登壇者と機材・照明係



設営の様子

リハーサルの様子



客席の視点からもリハーサルの問題点を指摘



教職員も力を合わせて…

14時には共同企画に登壇いただく本学出身岡山大学・天野先生が到着。いよいよ本番モードに…。



司会者の二人は、前回の大雪の影響で設営メンバーと別行動をとり、ようやく司会の打合せを行うことに…。

19時の解散後、共同企画メンバーは閉館時刻の21時30分まで細部にわたる確認・修正を行った。天野先生にも最後までご指導をいただきました。これで思い残すことはありません。いよいよ明日本番を迎えます。



日本大学 学生FD CHAmmit2013を開催

はじめての「日本大学 学生FD CHAmmit」を開催しました。

2014年2月26日（水）に本学初の全学科を対象とした教学イベントとなる「日本大学 学生FD CHAmmit 2013」を日本大学法学部10号館で開催しました。

前日は、学生コアメンバーが遅くまでリハーサルを行い、当日も早朝より準備を行い、来場者を迎えました。

日本大学のほぼ全ての学科から86名の学生、全ての学部等から18名の教員と22名の職員が参加し、参加者数は合計126名（スタッフ等を含め合計167名）となりました。

学生・教員・職員が三位一体となった質の高いイベントとなりました。



第1回「日本大学 学生FD CHAmmit」の参加者



「日本大学 学生FD CHAmmit2013」当日のスケジュール

- 11:00～ オープニングスピーチ
- 11:10～ 共同企画『日大学生FD入門』
- 11:55～ 企画等説明
- 12:15～ 学生参画型企画
 - ・学部ミーティング①
 - ・オール日大ミーティング → グループ間発表
 - ・学部ミーティング② → 全体発表
- 15:50～ エンディングスピーチ
- 16:10～ 懇親会（法学部本館地階）



羽入先生の気合注入で、10時にはスタッフも準備万端。参加者の来場を待つばかりに…。



開始10分前にはほぼ集合完了。いよいよ開始です。



オープニング

全学FD委員会プログラムワーキンググループリーダー村田英治教授（商学部）の挨拶で開幕！



舞台裏では、最初の企画となる「共同企画」担当の文理学部学生FDワーキンググループが待機！！

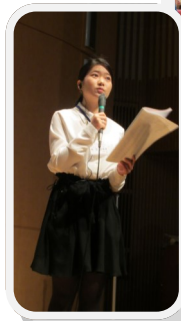


共同企画



文理学部学生FDワーキンググループによる寸劇や岡山大学の天野准教授の説明により「FDとは何か?」「学生FDとは何か?」について、わかりやすくまとめていただきました。また、天野先生からは、日本大学における学生FDの実践についても示唆をいただきました。

また、会場の参加者にもクイズ形式で「学生FD」についての理解を確認するため、色画用紙を用いて理解度チェックを行うことで、少しずつ参加者の理解が進んでいきました。



「企画等説明」では、この後のミーティングの流れやマナーについて、学生・教員・職員が実演形式で説明を行いました。良い例、悪い例をわかりやすく体現し、午後の「学生参画型企画」に繋がっていきました。



企画等説明



企画等説明の中で、今回の企画準備・実施に携わった学生コアメンバー20名の紹介と挨拶が行われました。



学部ミーティング①



続いて、「学生参画型企画」へ。まずは、「学部ミーティング①」。ここでは、自己紹介とアイスブレイクを行い、その後、学部の授業等の良いところや改善が必要な点などについて、問題提起が行われました。

熱く学部教育や授業について意見を述べる学生と教職員



オール日大ミーティング（ランチ会 → ちゃみっとーく！）



12時45分からは「オール日大ミーティング」。ここでは様々な学部から学生・教員・職員が集まり、話し合いを行いました。まずは、「ランチ会」で食事をしながら、楽しくトーク。食後は、グループを半分に分けて「ちゃみっとーく！」へ。ここでは、各学部のよい授業や面白くない授業など、取り組みや問題点などの情報を共有し、「望むべき授業」についてKJ法を用い、話し合い、模造紙にまとめていきました。



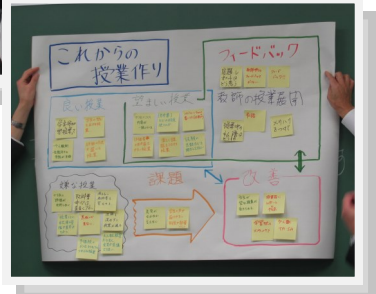
次第に議論も白熱し、総立ちとなるグループが相次ぎました。



グループの話し合いを円滑にするため、ファシリテーター（学生コアメンバー）がサポートしました。



オール日大ミーティング（ちゃみっとーく！発表会）



複数学部の学生・教員・職員が集まり話合った結果を写真のように4グループごとお互いに発表しました。グループによりできあがった模造紙はさまざまで、個性あふれるものばかりでした。

学部ミーティング②

「学部ミーティング②」では、「オール日大ミーティング」で共有したさまざまな価値観や情報を再度学部を持ち帰り、学部として今後生かせる点などをまとめていきました。最後に「学部FD報告書」にまとめ、ミーティングは終了です。

学科数最大の文理学部では、報告書のまとめにみんなで最後まで協力していました。



薬学部FD報告書
(各セッションで取り出した意見についてまとめたものを掲載します)

学部ミーティング①	学部ミーティング②
各学部の良い点・改善すべき点	今後に生かせるような点や改善点の具体案
資格が取れる。 問題解決型授業がある。 目的が何にしている。 国家試験合格! 学生どうしが話し合(SG)授業がある。 1世学部との関わりはない。	問題解決型授業を種々やる。 TA(専入(学生)可研?) 医学部・歯学部とは別の薬学部は「現場」がほしい。 ハズレたくないのは... 特に医歯薬系で連携を深めたい。 集中講義を開く(長期休暇) 教員・専任生を雇った授業 現実論ムズかしい...

特に各学部で実施していただきたいこと、みんなに届けてほしいこと、伝えたいことを数語〜書き添えてください

部では今後こんなこともしていきたい!!

医歯薬系での連携を深めたい!

みんなに伝えたい!!

学部ミーティング② (全体発表)

再び全体会場に戻り、学部ミーティングの成果を3学部(文系・理系・医歯薬系学部の代表)が発表しました。法学部・理工学部・医学部が、それぞれ今後の授業改善案などについて発表しました。



文系学部を代表した法学部の発表の様子



司会の二人(経済学部の田仲さん〔左〕、工学部の浅野さん〔右〕)も準備段階から試練の連続でしたが、最後まで会場を盛り上げました。



エンディング・懇親会

最後に、全学FD委員会 原 直久教授(芸術学部)と学生コアメンバー代表 瀬良兼司さん(商学部)からエンディングスピーチをいただき、第1回目の「日本大学 学生FD CHAmm iT」は盛況のうちに閉幕しました。



今回は第1回目の「日本大学 学生FD CHAmm iT」でしたが、無事に終わることができました。しかしながら、本イベントの実施はゴールではありません。今後、「各学部等においても教育改善活動や学生FD活動が活性化していくこと」が、当面の目標となります。当日はお忙しい中、参加者のみなさま、岡山大学の天野先生、各学部等の関係者のみなさま、学生コアメンバーのみなさま、そして、会場の提供や実施までのさまざまな準備に協力いただいた法学部職員のみなさまに厚く御礼を申し上げます。

